

2020年3月期
第2四半期決算説明会

2019年11月25日
株式会社 ユタカ技研

ご説明内容

Ⅰ．2020年3月期 第2四半期累計 決算概況

Ⅱ．2020年3月期 見通し

Ⅲ．事業状況

2020年3月期

第2四半期累計 決算概況

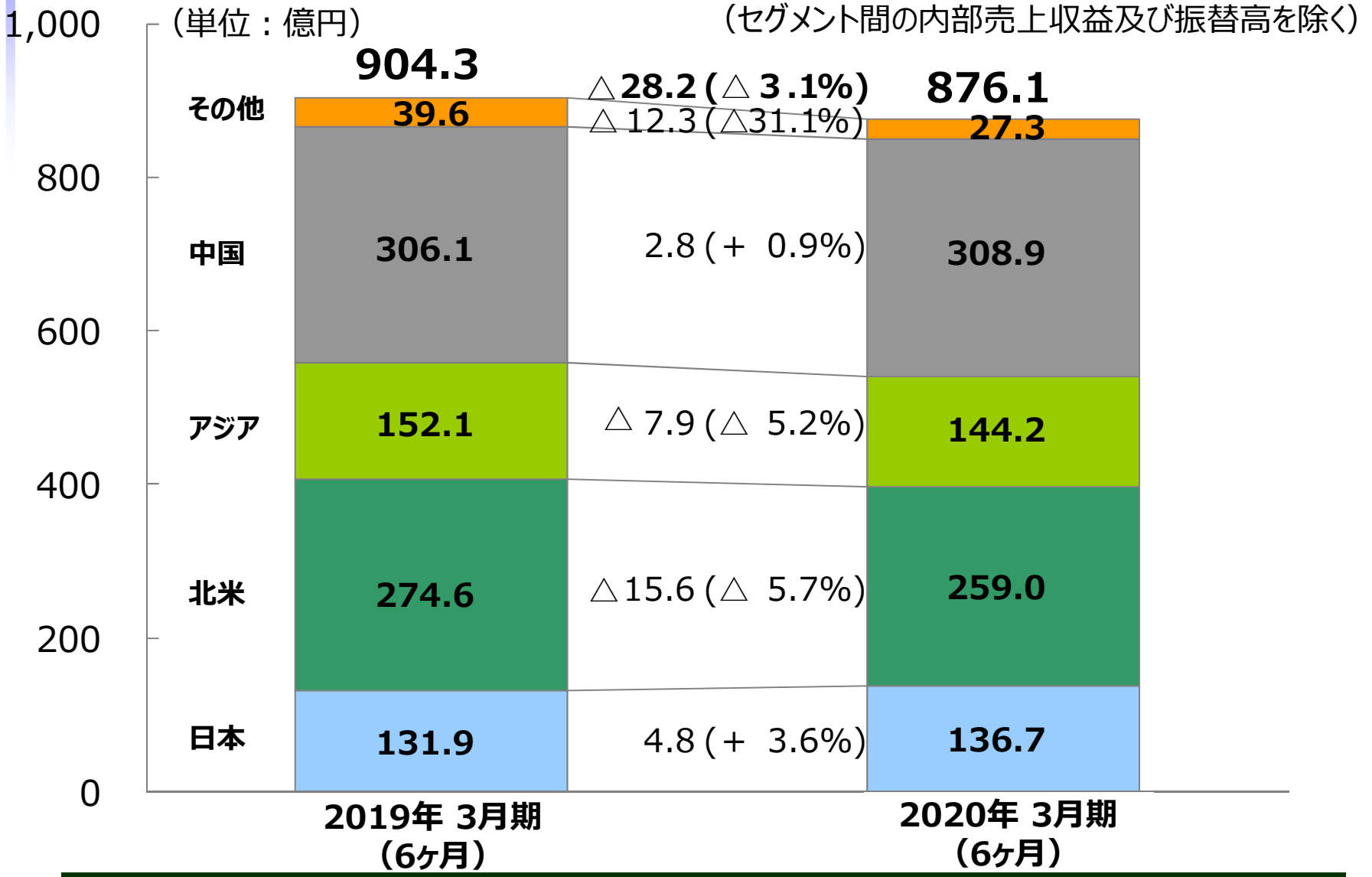
20年3月期第2四半期累計　連結決算概況

（単位：億円）

	2019年 3月期（6ヶ月）	2020年 3月期（6ヶ月）	増　減
売上収益	904.3	876.1	△3.1%
営業利益	45.5	45.9	0.9%
税引前利益	51.6	43.4	△15.9%
四半期利益	24.5	23.7	△3.5%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	17.4	17.8	2.3%
基本的１株当たり四半期利益	117.20円	119.87円	2.67円
１株当たり配当金	36.00円	36.00円	― 円
	($1=¥110)	($1=¥109)	

減収ながら営業利益は増益
為替影響により税引前利益及び四半期利益は減益

20年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別売上収益



北米及びその他の地域（イギリス･ブラジル）で受注減により減収

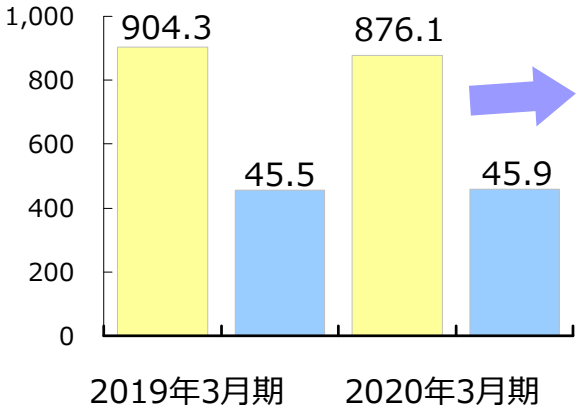
20年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別営業利益

YUTAKA Clean for the Future

（単位：億円）

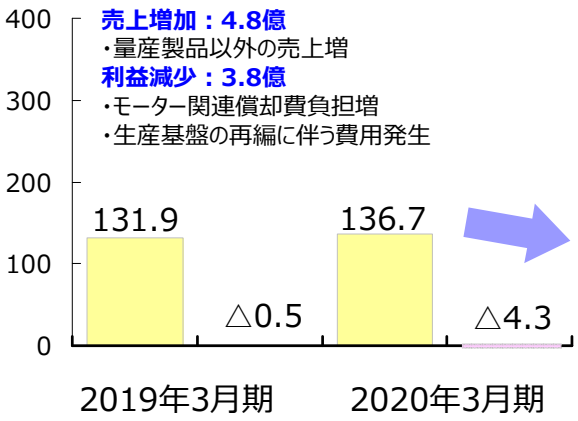
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

＜全体＞



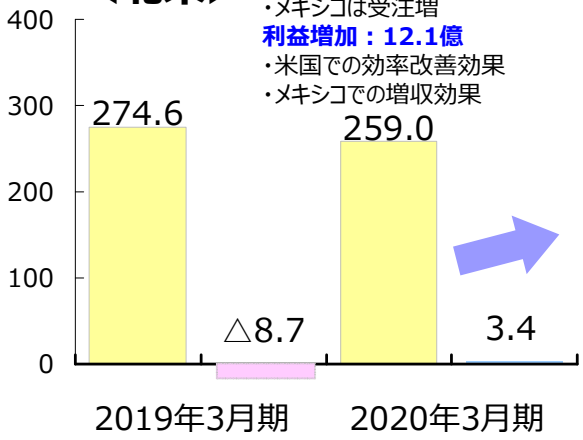
＜日本＞

売上増加：4.8億
・量産製品以外の売上増
利益減少：3.8億
・モーター関連償却費負担増
・生産基盤の再編に伴う費用発生



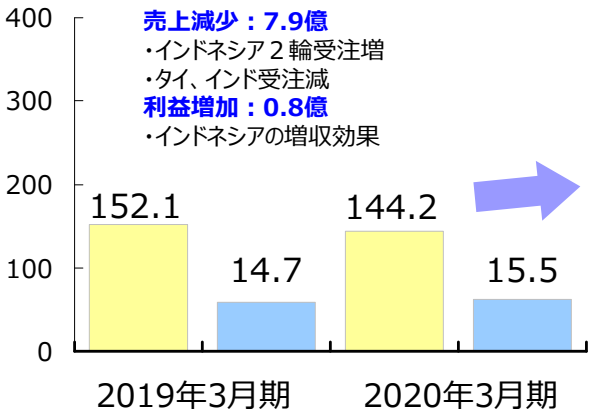
＜北米＞

売上減少：15.6億
・米国は受注減
・メキシコは受注増
利益増加：12.1億
・米国での効率改善効果
・メキシコでの増収効果



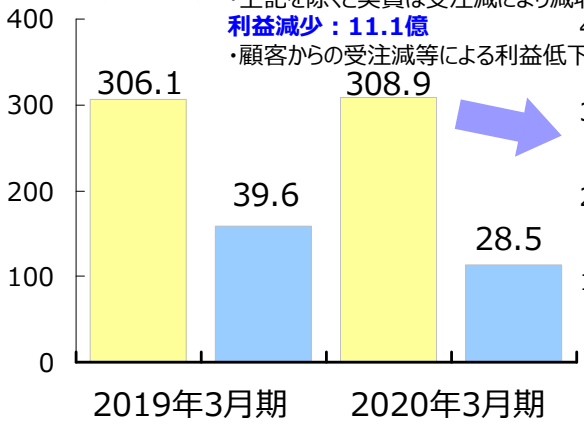
＜アジア＞

売上減少：7.9億
・インドネシア２輪受注増
・タイ、インド受注減
利益増加：0.8億
・インドネシアの増収効果



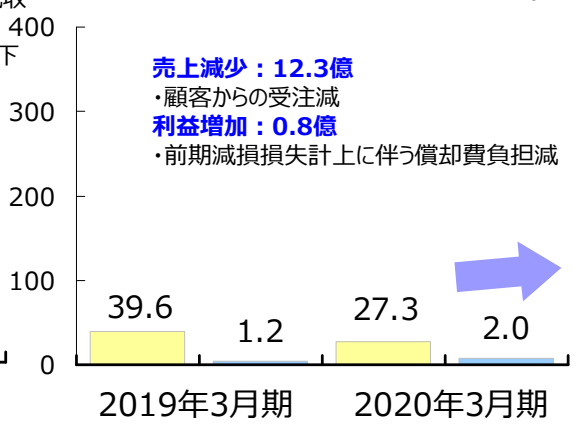
＜中国＞

売上増加：2.8億
・構成部品の価格変動に伴う影響により売上増
・上記を除くと実質は受注減により減収
利益減少：11.1億
・顧客からの受注減等による利益低下



＜その他＞　（イギリス・ブラジル）

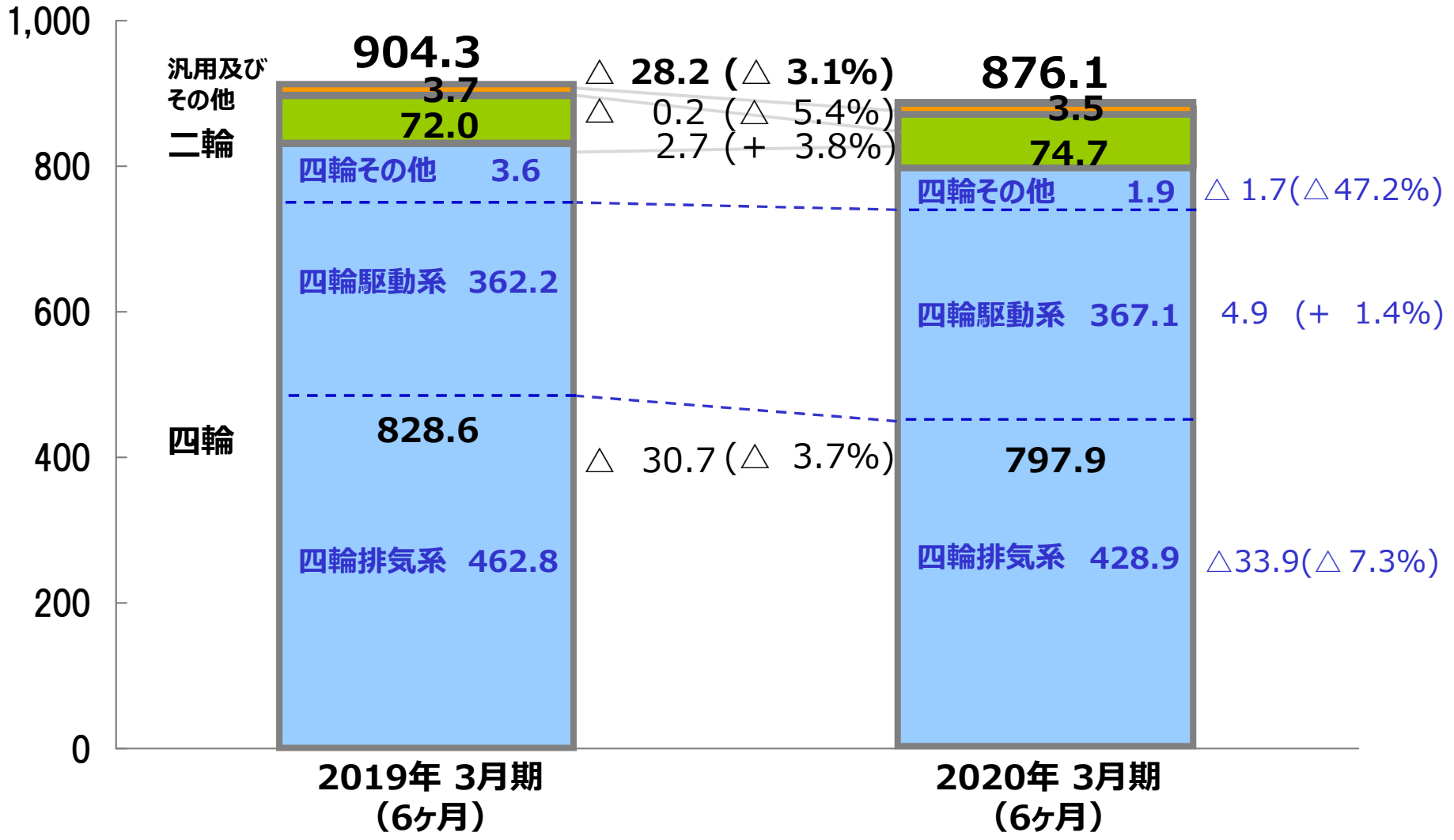
売上減少：12.3億
・顧客からの受注減
利益増加：0.8億
・前期減損損失計上に伴う償却費負担減



北米・アジア・その他地域で増益

20年3月期第2四半期累計　連結決算概況　製品別売上収益

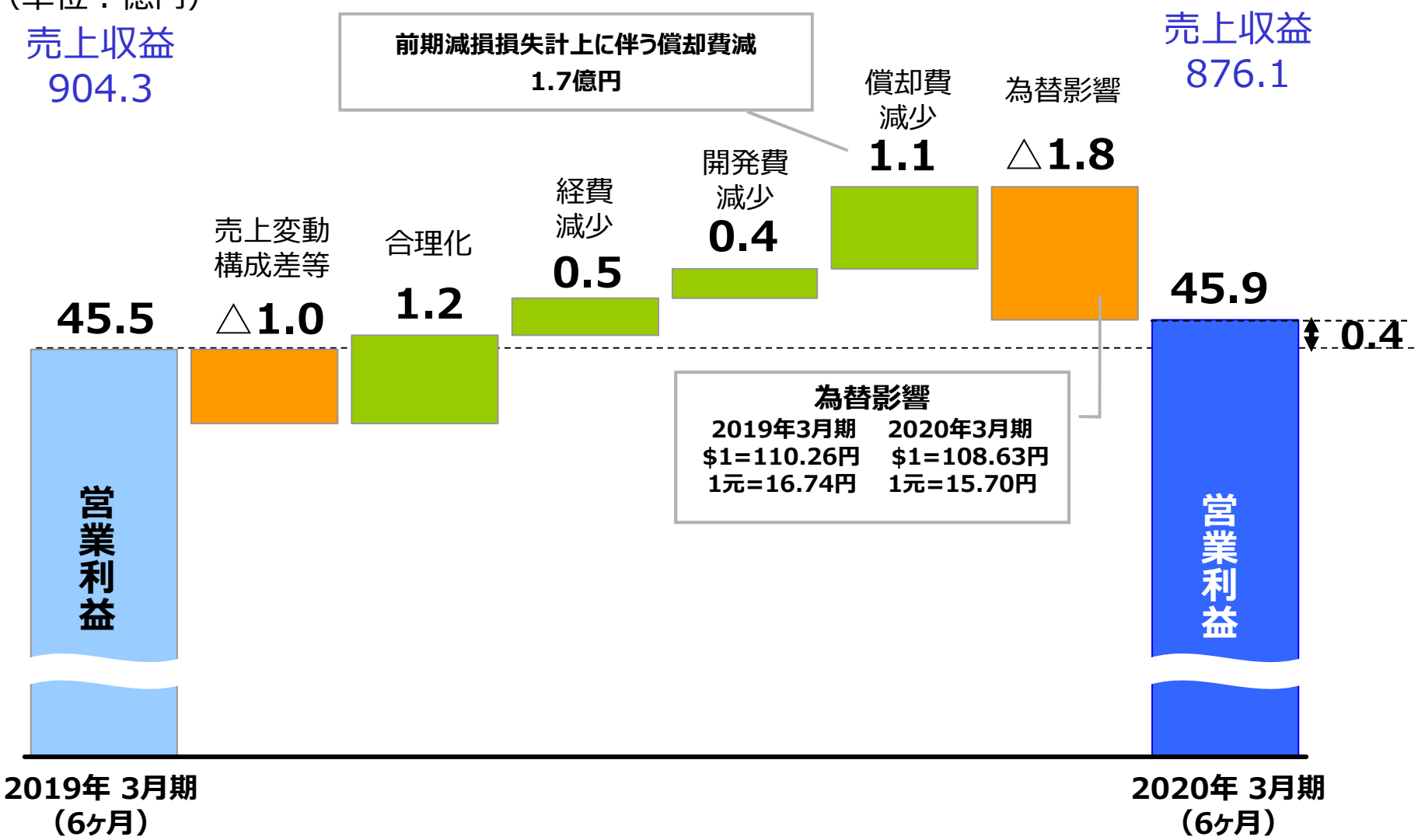
（単位：億円）



受注減により四輪で減収

20年3月期第2四半期累計　連結決算概況 営業利益 増減要因

（単位：億円）



売上変動・為替影響があったものの、合理化・経費減により増益

2020年3月期
通期見通し

20年3月期連結見通し

（単位：億円）

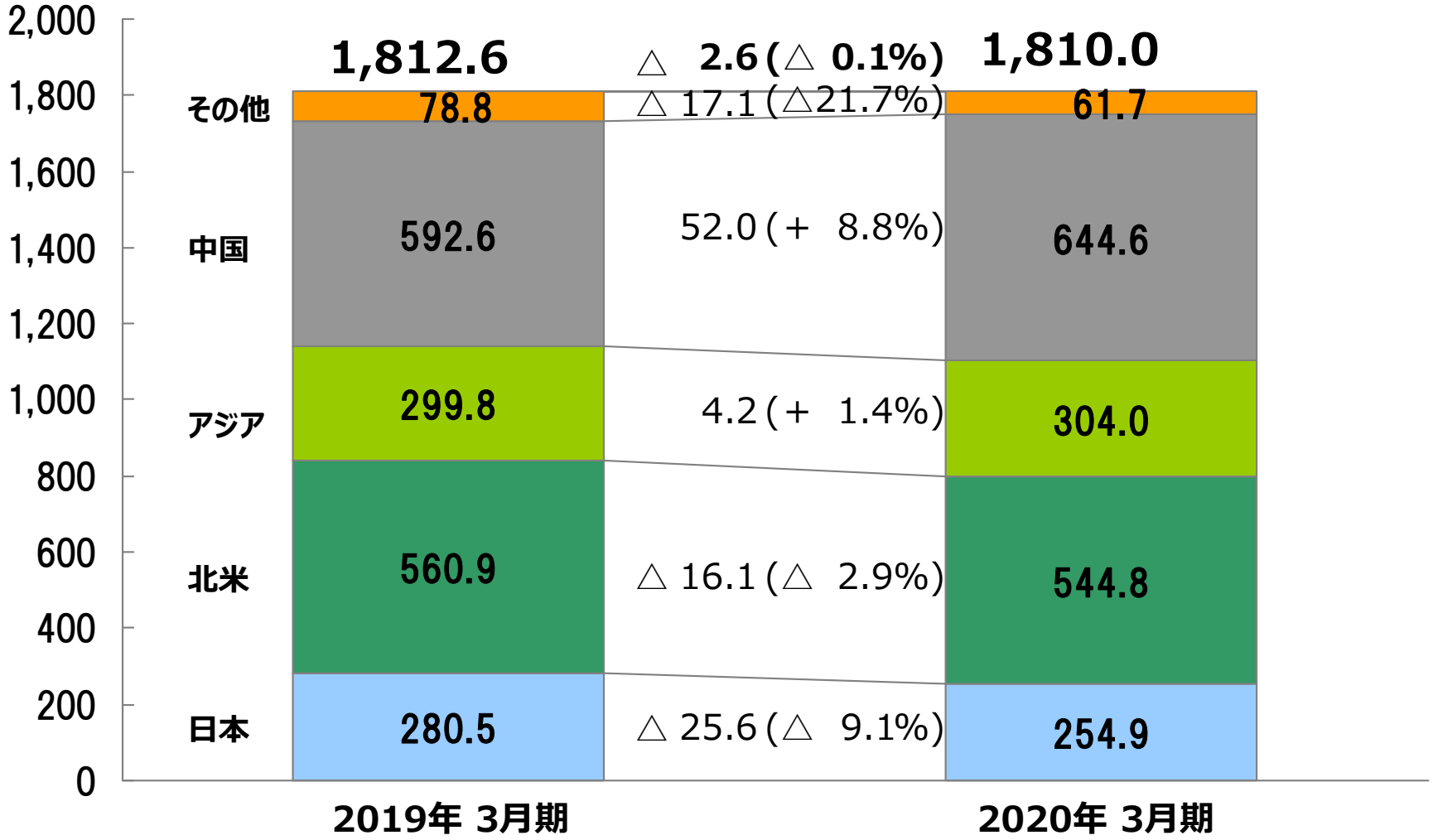
	2019年 3月期	2020年 3月期	増　減
売上収益	1,812.6	1,810.0	△0.1%
営業利益	86.0	75.0	△12.8%
税引前利益	90.1	74.0	△17.9%
当期利益	54.5	41.0	△24.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	46.6	30.0	△35.6%
基本的１株当たり当期利益	314.59円	202.45円	△112.14円
１株当たり配当金	72.00円 ＊中間 36円，期末 36円	72.00円 ＊中間 36円，期末 36円	― 円
	($1=¥111)	($1=¥108)	

前期に対し減収減益となる見通し

20年3月期連結見通し 地域別売上収益

（単位：億円）

（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）

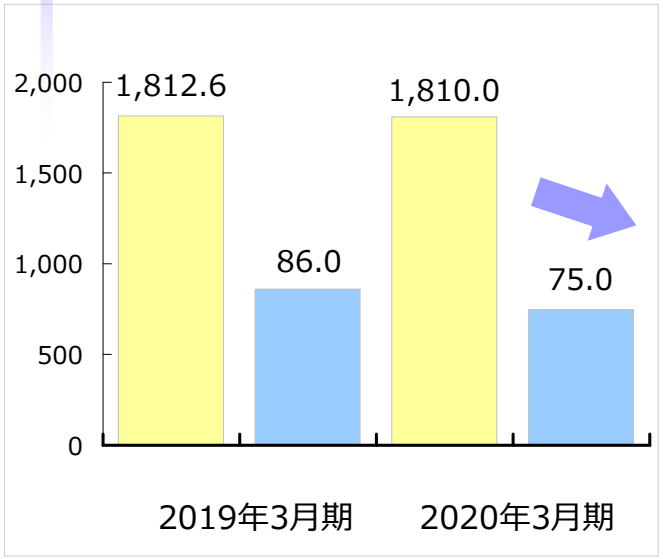


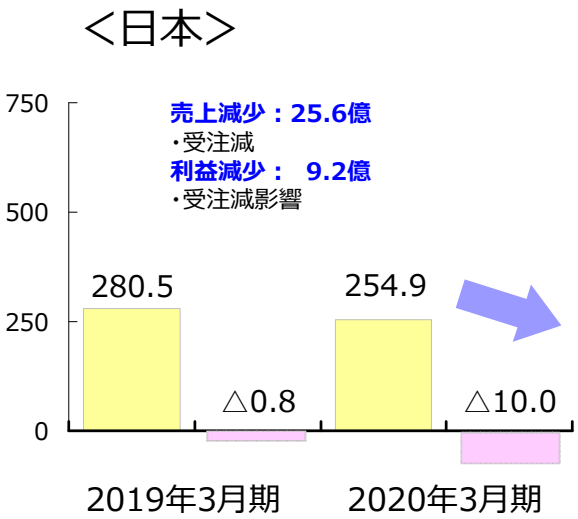
日本･北米･その他の地域で減収見通し

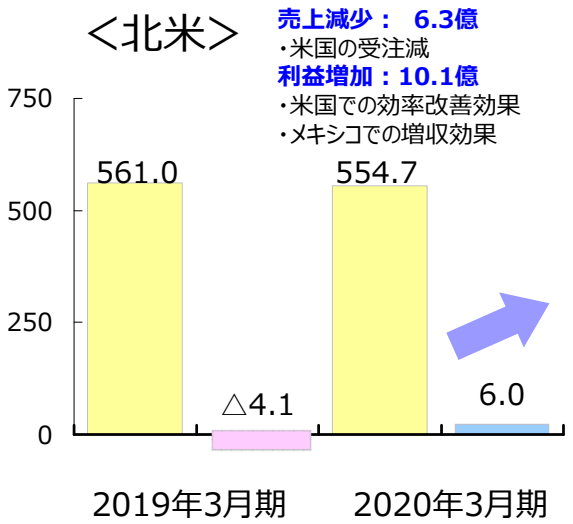
20年3月期連結見通し 地域別営業利益

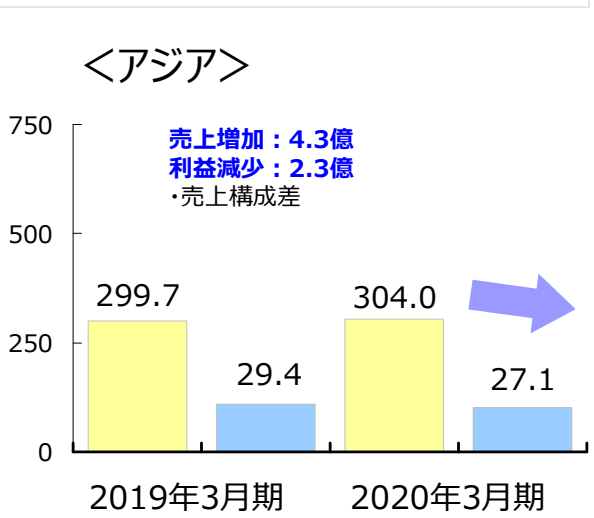
(単位：億円)

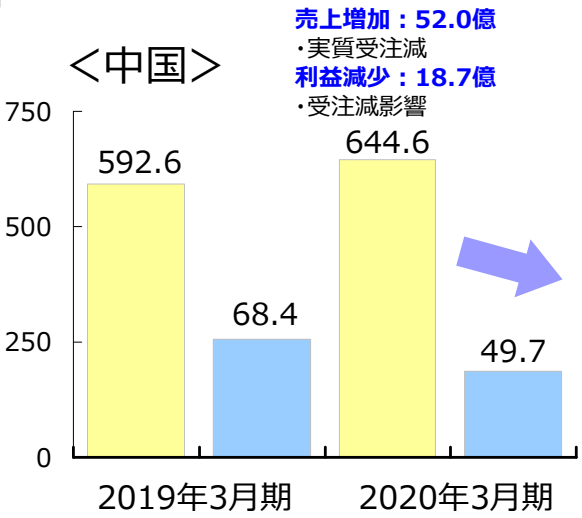
売上収益 → 利益増減
営業利益 営業損失

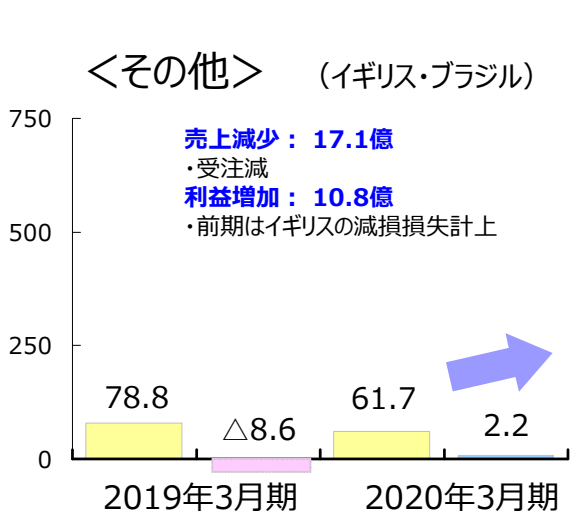








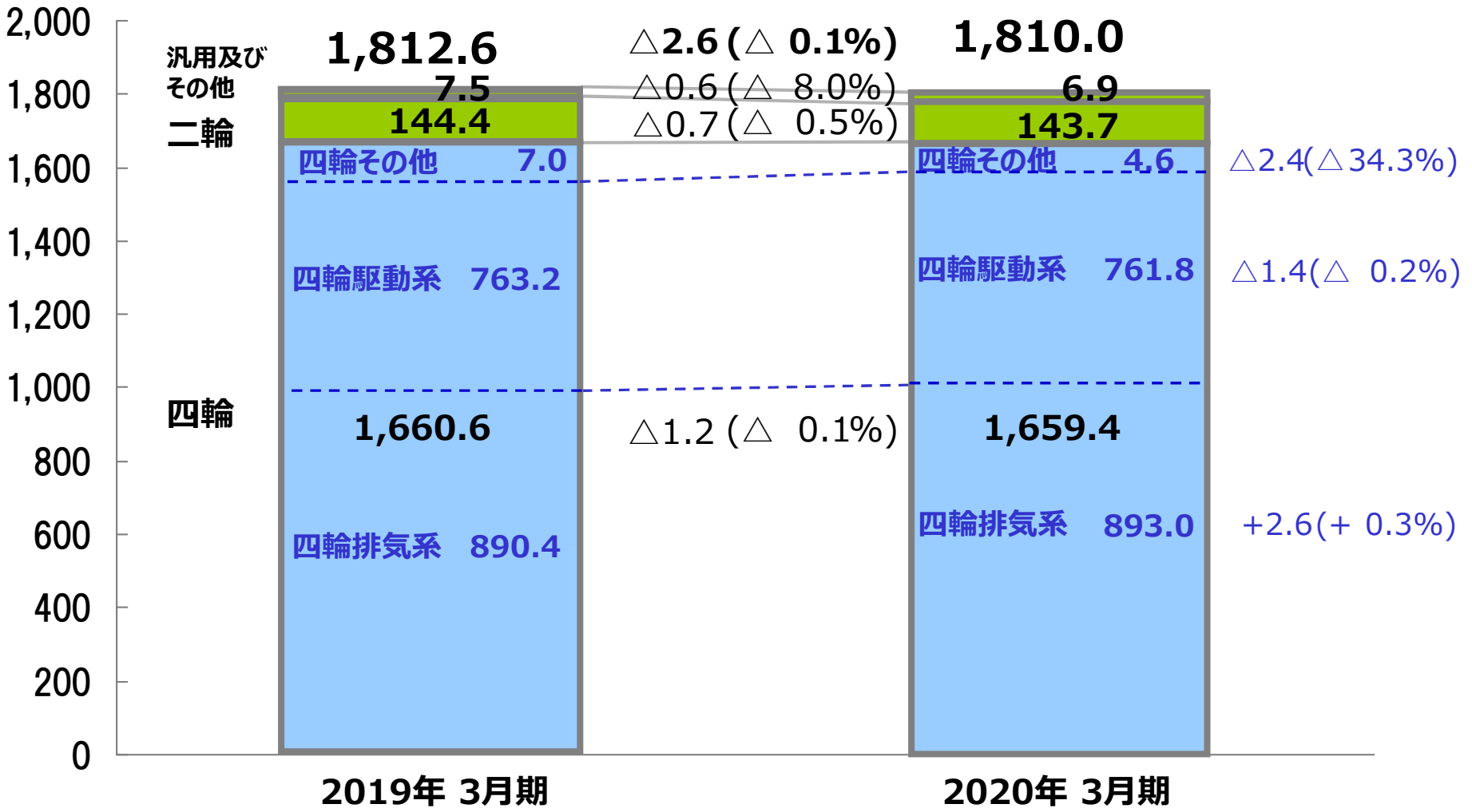




北米・その他の地域は増益、日本・アジア・中国は減益、連結では減益

20年3月期連結見通し 製品別売上収益

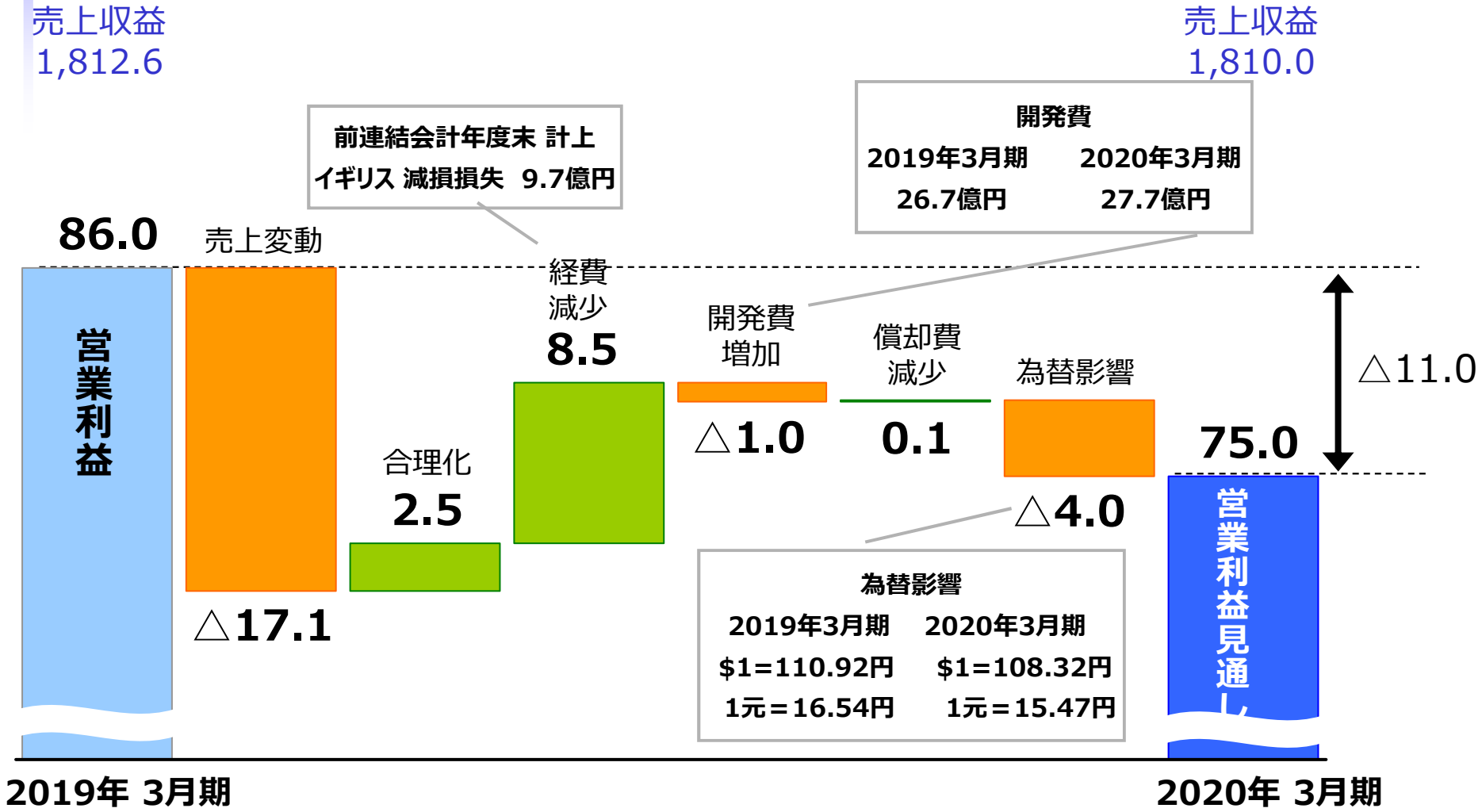
(単位：億円)



すべての事業で減収見通し

20年３月期連結見通し 営業利益 増減要因

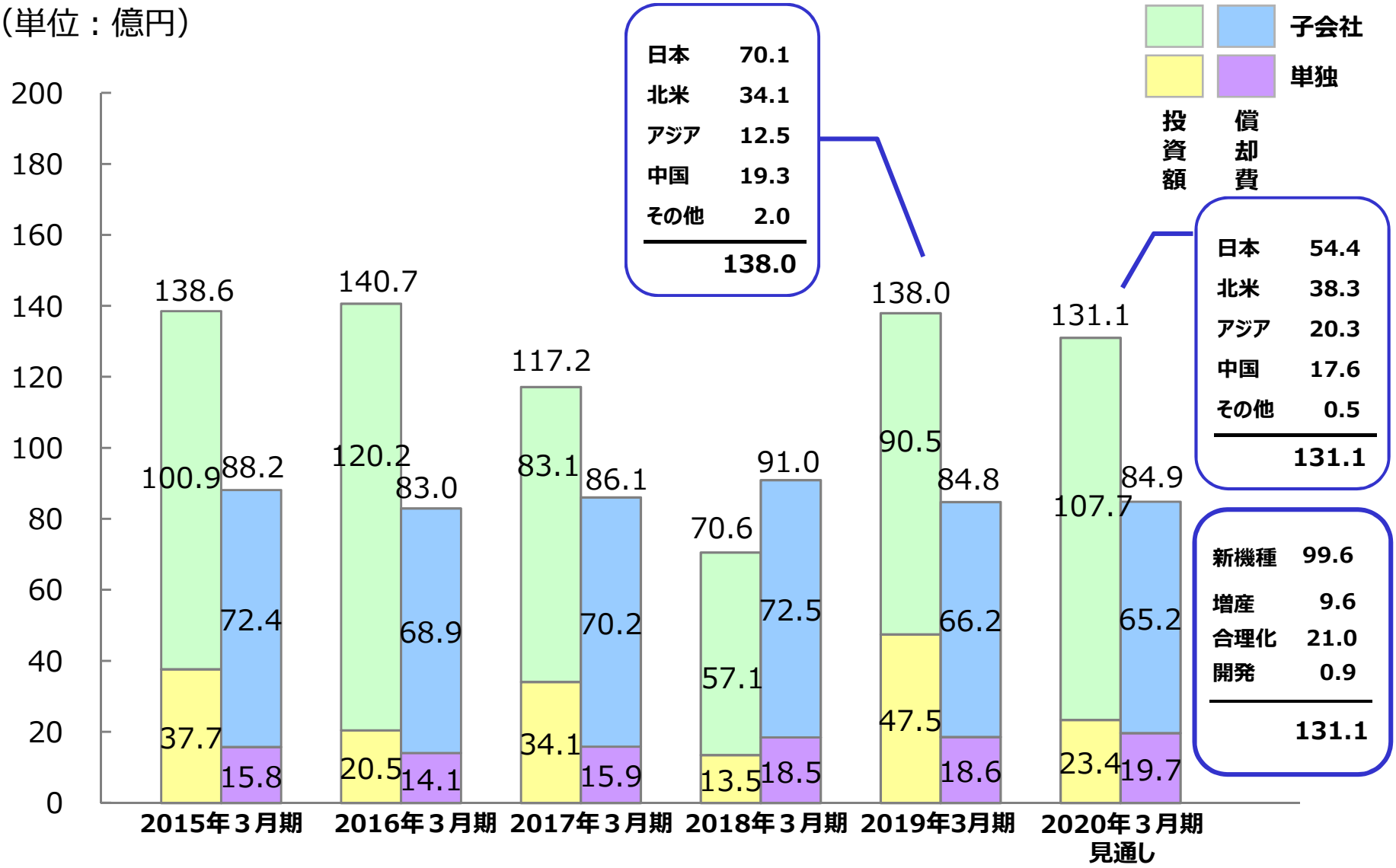
(単位：億円)



売上変動及び為替影響があり、減益見通し

20年3月期連結見通し 設備投資額の推移

(単位：億円)

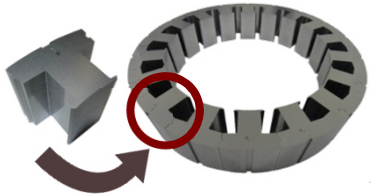


前期並みの投資及び償却費の見通し

事業状況

Yutakaモーター製品搭載の拡大

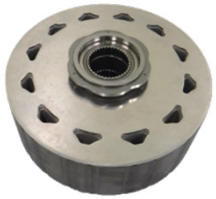
i-DCD ステーターコア



SPORT HYBRID i-MMD用ローター (Assembly)



発電モーター用ローター



駆動モーター用ローター

マグネットプレート



マグネットプレートA



マグネットプレートB

ローターシャフト (新日工業)



ローターシャフトG



ローターシャフトM





SHUTTLE HYBRID



INSIGHT



CR-V HYBRID



CLARITY PHEV



STEP WGN SPADA HYBRID



FREED HYBRID

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

今後のモーター製品搭載拡大に向けた体制を構築中

栃木開発センター　悪路シミュレータの導入

栃木開発センターでは、設計シミュレーションや台上試験によって、性能や信頼性の高い製品を効率よく開発することを目標にしています。
サイレンサーについても、エンジンの動きや車体振動を入力することで、実車の走行状態を正確に再現可能な「悪路シミュレータ」を導入しお客様への提案力強化に努めております。

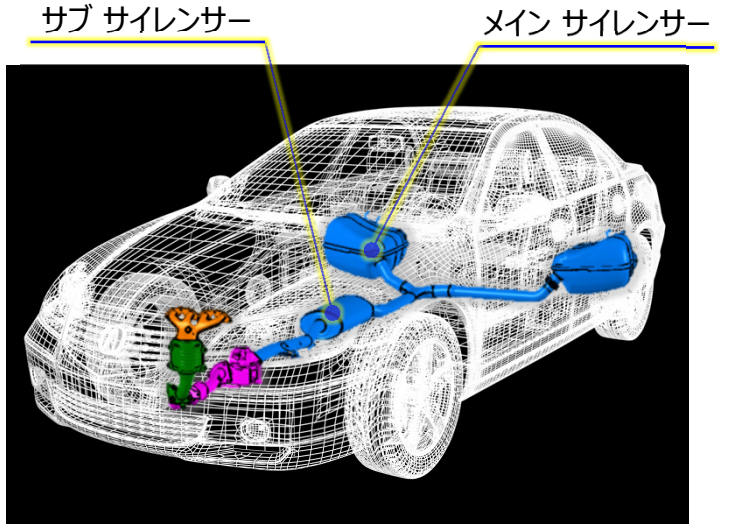


悪路シミュレータ棟



栃木開発センターの拡張スペースに
研究棟の増設とテスト設備を導入

サイレンサーの車載レイアウト



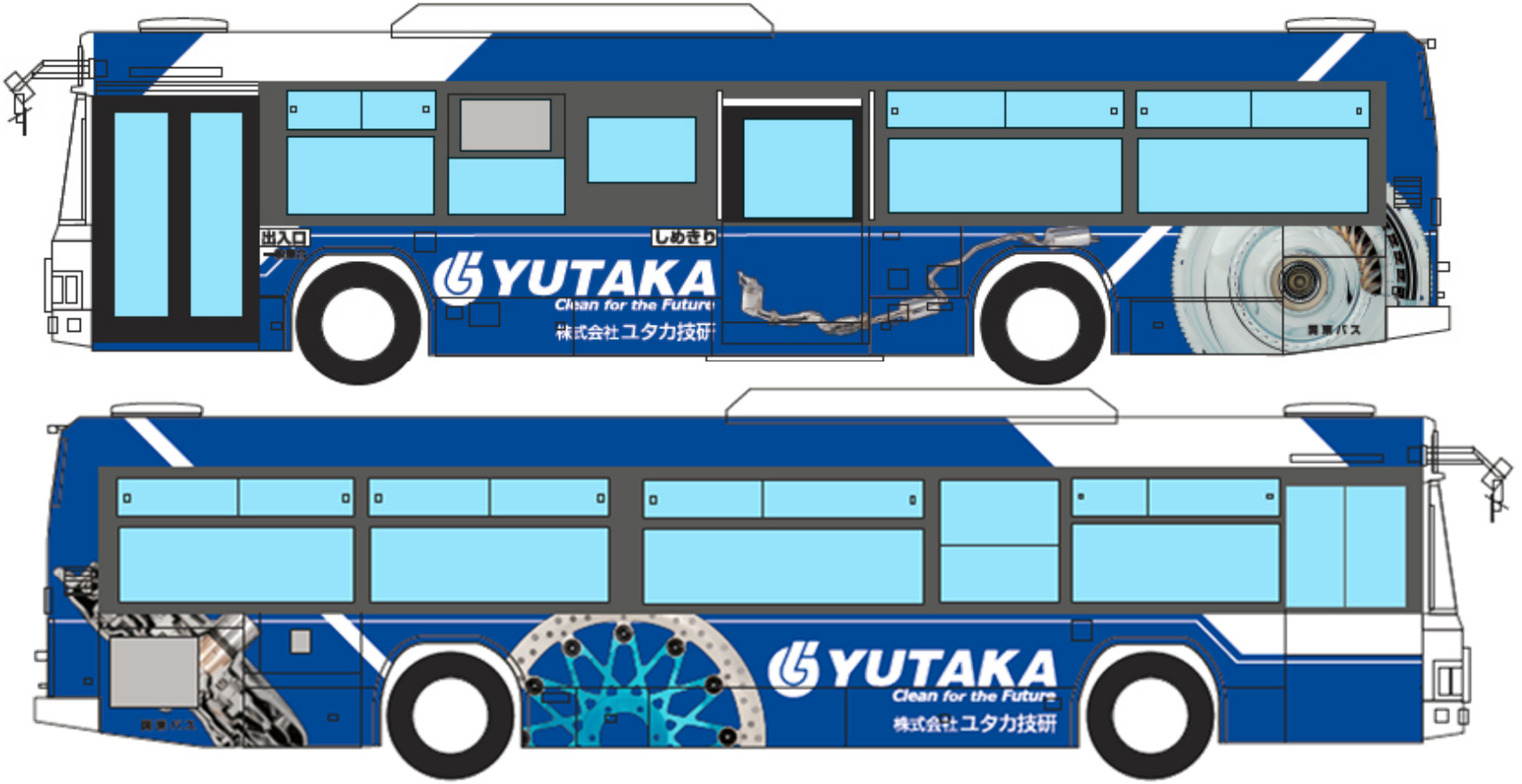
悪路シミュレータは、走行時のサイレンサーの動きを正確に再現

悪路シミュレータ導入でお客様への提案力強化

Yutakaラッピングバス

知名度UP

栃木地区・三重地区にてYutakaのラッピングバスの運行がスタート



「動く広告塔」としてYutakaの名前をPR

YUTAKA
Clean for the Future

